

# 平成26年度富士見市国民健康保険特別会計 (事業勘定) 予算 (概要)

## 1 予算概要

### (1) 予算編成概要

平成26年度当初予算は、被保険者数は引き続き減少傾向にある一方、この間、増加傾向にあった医療費総額は、平成25年度は例年の推移通りであれば、減少に転ずる見込みである。

しかしながら、被保険者数が減少しているにも関わらず介護納付金は増額し、後期高齢者支援金も微減に止まっている。また、共同事業においても抛出超過が見込まれることから、不足額は依然として一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況となっている。こうした中、平成26年度の予算としては、前年度予算総額と比べ減額の予算編成となった。

### (2) 予算規模

平成26年度国民健康保険特別会計(事業勘定)当初予算額は、114億985万2千円となり、前年度当初予算額に比べ2億3,417万円(Δ2.01%)の減となっている。

これは、主に保険給付費2億8,069万2千円(Δ3.66%)の減が、大きな要因である。

## 2 歳入予算の主な特徴

### (1) 国民健康保険税

被保険者数は、減少傾向にあり、一人当たりの調定額も前年度から引き続き横ばいであることから、平成26年度収納を考慮した結果前年度より3,643万1千円減の24億3,628万7千円を見込んだ。

### (2) 国庫支出金

国庫支出金では、療養給付費等負担金について定率国庫負担の割合が32%交付されるが、医療費の減少に伴い減額となる。また、国庫補助金の財政調整交付金は、平成25年度の対象事業と過去の決算の実績額等を考慮し算出した結果、前年度より1,63

3万1千円減の21億8,486万1千円を見込んだ。

### (3) 療養給付費交付金

退職被保険者の医療費等に充てるものですが、団塊の世代が年齢到達により退職保険者の資格を喪失していることから、1億2,436万2千円減の3億9,914万円を見込んだ。

### (4) 前期高齢者交付金

前期高齢者（65歳から74歳までの被保険者）にかかる医療費について、国民健康保険、被用者保険間で財政調整が行われ、加入率が高い国民健康保険はこの調整金を受け取るしくみとなっているが、当年度の概算交付金額は増えているが、前々年度の精算は交付超過となり、相殺すると前年度より1億898万4千円減額の31億6,277万7千円を見込んだ。

### (5) 県支出金

高額医療費共同事業及び特定健康診査事業に係る県の負担分であり、一般被保険者の医療費等に充てられる。共同事業の拠出超過がみこまれるが、超過分が県調整交付金の共同事業赤字補填分等で補てんされるため全体では、5,503万7千円増の6億1,149万2千円を計上した。

### (6) 共同事業交付金

高額医療費共同事業と保険財政共同安定化事業の交付金であり、ともに高額な医療費の発生による保険者の財政運営の不安定を緩和することを目的としているもので、県内の全市町村保険者を対象としている。連合会の試算値を基に、前年度より1億5,926万9千円減の13億233万9千円を見込んだ。

### (7) 繰入金

一般会計からの繰入金は、拠出金等の負担増により、法定外分で前年度（7億4,107万5千円）より1億1,932万1千円増の8億6,039万6千円を、また法定内分では、平成26年度より被保険者の高齢化に伴う低所得世帯の増加に対する軽減分の拡充（5割・2割）が見込まれることから、前年度（3億4,522万7千円）より3,232万6千円増の、3億7,755万3千円となり、合計で前年度（10億8,630万4千円）より1億5,164万7千円増の総合計で12億3,795万1千円を見込んだ。

### 3 歳出予算の主な特徴

#### (1) 総務費

国の負担金や補助金、月報等で使用しているシステムが、国の方針によるバージョンアップのため、その対応システムの導入に伴う増額等で、前年度と比較して4.41%増の5,596万8千円で見込んだ。

#### (2) 保険給付費

被保険者数は、引き続き減少傾向にあることや、平成25年度の医療費は、例年の推移通りであれば、減少に転ずる見込みであることから、平成26年度においても同様の傾向が継続すると予測され、前年度と比較して2億8,069万2千円減の73億8,033万5千円を見込んだ。

#### (3) 後期高齢者支援金等

後期高齢者医療制度への保険者の支援金は、年々増加傾向にありますが、前々年度の精算が交付超過であったことから相殺され前年度と比較して、0.85%減の16億2,869万7千円を見込んだ。

#### (4) 介護納付金

40歳から65歳未満の2号被保険者分として社会保険診療報酬支払基金へ支出するもので、前年度より619万9千円増の6億4,637万3千円を見込んだ。

#### (5) 共同事業拠出金

高額医療費共同事業、保険財政共同安定化事業に要する費用に充てるため、国民健康保険団体連合会へ納付する拠出金。(県内全ての市町村国保保険者が埼玉県国民健康保険団体連合会に拠出する)前年度より4,779万円増の14億9,600万9千円を見込んだ。

#### (6) 保健事業費

特定健康診査、特定保健指導及び人間ドックに係る費用。平成26年度においては、目標値及び実態等に基づき、前年度比390万1千円増の1億4,454万8千円を見込んだ。